

さわどい 埼玉

駐日タイ王国特命全権大使が講演

第16回総会・懇親会開催

去る7月2日、埼玉・タイ王国友好協会の第16回総会が川越東武ホテルで開催され、103名の出席がありました。

総会では原会長の挨拶の後、教育関連施設調査訪問の報告があり、その後議事に移り、提案された3つの議案が満場一致で承認されました。

その後タナティップ・ウパティシン駐日タイ王国特命全権大使が「これからの日タイ経済関係」をテーマに講演しました。

その中で大使は、今回、政権を掌握した国家平和秩序評議会の政策を説明し、タイ国内の安定と平行して海外との経済的な取組を継続・推進していくことを強調しました。また、タイ投資委員会（BOI）が6月、18案件総額1200億バートの大型投資案件を承認し、日系企業を含む滞留している案件を早急に審査していくとの説明がありました。

同大使はその後行われた懇親会にも出席され、多くの会員と名刺交換をするなど、和やかな交歓風景が見られました。



▲議長を務める原会長

和やかな交歓風景が見られました。



▶乾杯の音頭をとる細沼幹事



▶懇親会で挨拶する原会長



▶講演するタナティップ・ウパティシン駐日タイ王国特命全権大使



▲教育関連施設の調査報告



▶中締めで挨拶する藤池幹事



話が弾む参加者の皆さん



▲拍手の中、懇親会会場に入るタナティップ・ウパティシン駐日タイ王国特命全権大使

8カ所目の教育関連施設 建設事業がスタート



会長
原 敏成

7月開催の総会では8カ所目となる教育関連施設建設の調査報告をし、その建設を本年度の事業として行うことを満場一致で承認して頂きました。これを受けて9月27日に現地にて建設に関する調印が行われました。今後は1月完成に向けて、その建設の推移を見守っていくことになり、ほっとしております。

先般のタイの政治情勢から、当会の活動がどうなるのか心配された会員の皆様もいらっしゃったかと思いますが、本年の活動には何ら影響は無く、これまで通り行うことが出来るかと確信しております。総会の講演でタナティップ・ウパティシン駐日タイ王国特命全権大使がタイと日本は六百年前から友好関係にあると話されました。我々の活動が草の根外交といわれる由縁はここにこそあるのだと感じております。

当会が継続してタイ王国との友好や支援を行いますのも会員の皆様のご協力の賜物でございます。8カ所目の建設事業もスタートし、改めまして会員の皆様の変わらぬご指導とご協力をお願い申し上げます。

一月完成に向けて調印式

メーピン校に一棟4教室を建設

当会事業の柱である教育関連施設建設事業の本年度総会での決定を受けて、9月26日から吉田事務局長等4名が現地へ赴き、寄贈先のメーピンソン県のメーピン校で調印式が行われました。式には、現地でご協力いただいている当会会員の堀田様、タナ様、スチャイ様も出席していただきました。メーホンソン教育局からプラウエツト氏、同校からはジラポン校長をはじめ、先生、生徒、僧侶、村人など関係者等約70名が出席しました。

式は小、中学生の舞踊や楽器演奏によるオープニングセレモニーの後、ジラポン校長、吉田事務局長の挨拶に続いて調印が行われました。調印式後、建設予定地へ移動し、僧侶出席の下、起工式を行いました。一棟4教室の完成予定は来年1月です。同校長及び村の代表からは、村と学校が一体となり建物の完成に努め、良いものをつくり、教育に役立てたいとの言葉がありました。



▲チェンマイにある総領事館を訪ね、近藤副領事等と情報交換

一行は、4日間の滞在中、調印式の他にもこれまでの寄贈先3校、在チェンマイ日本国総領事館、りそな銀行バンコク駐在員事務所、泰国時事通信社、明治大学アセアンセンターなど精力的に訪問し、情報交換や当会活動への理解と協力を求めました。



▲署名する吉田事務局長



▲調印式を終えて全員で記念撮影



▲スチャイさん



▲タナさん



▲起工式で儀式を務める堀田さん



▲農作業の所作が巧みなダンス



▲ダンスを披露する小学生

「現場力」を持つ人材を!! 明治大学アセアンセンター

現在、来年のアセアン経済共同体の発足を背景に「日本とアジアの架け橋となる人材」を育てることを目的として、海外拠点をバンコク市内に設立する日本の大学が増加しております。縁あって本年の4月の建設事業調査訪問及び9月の調印式訪問の際に事務局にて明治大学の海外拠点である明治大学アセアンセンターを訪問致しました。同センターの運営統括の齊藤様は秩父のご出身であり、埼玉の同士として当協会との情報交換のお願いを致しました。

同センターは、明治大学のプログラム「日本ASEANリテラシーを重視した実務型リーダー育成プログラム」が文部科学省の補助事業に採択されたことから実現。「日本ASEAN実務型リーダー」とは、将来、ピ

ジネスパーソン、ジャーナリスト、建築家、NGO、公務員など多くの実務分野において、たくましい「現場力」を持って日本と東南アジアとの懸け橋となる人材のことで、それを日本とASEAN諸国に育成することを目的としています。

昨年、連携大学への長期留学又は短期プログラムに参加した学生数は、明大からASEANに138人、ASEANからの受け入れは75人。本年度は夫々100人を目標にしているそうです。



▲MAC事務所入口にて

バンクッドサムシブ校

平成17年2月
寄宿舎2棟寄贈

当協会最初の寄贈先である同校への訪問は7年ぶりとなります。この時期は雨期のため、同校までの道はぬかるみが多く、到着目前に車が溝に脱輪し、先生方に脱出を手伝っていただきました。当時と比べて、学校の周辺には住宅が増え、校内にも様々な施設が寄贈されました。電気はまだ通じていませんが、太陽光発電施設、パラボナアンテナも各々2ヶ所設置されました。寄贈した寄宿舎の使用率は現在20名程です。(建設時は約40名付近の住宅の増加とタイ国内の少子化により、寄宿舎の使用率は少なくなっていました)が、建物はしっかりと利用されていました。



▲寄贈した当時の寄宿舎



▲現在の寄宿舎



▲発電装置が2ヶ所(現在)



▲寄贈した寄宿舎の前で (現在)



▲寄贈当時の校内の様子

寄贈した3施設を訪問

アジアホープ孤児院

平成20年2月
乳児用寄宿舎寄贈



▲子供達におみやげを手渡す

同孤児院には寄贈後も会員の皆様と親善訪問時に何度か訪れておりました。一行は子ども達の笑顔に迎えられ、持参したお菓子などを手渡しました。



▲寄贈した寄宿舎の前で記念撮影

バンクッドサムシブ校同様に寄宿舎への入居は減っているということでしたが建物は綺麗に使用されていました。

バンジャムラン校

平成25年2月
校舎1棟(4教室)寄贈



▲教室脇にほうきが置かれていた



▲視聴覚室内

寄贈した建物は教室として使用され、寄贈当時と変わらぬ程綺麗に使用されていました。校舎脇にほうきが備えられ、設備は大切に使用されている様子でした。子ども達が子供をあやす仕草をもとにした歓迎のダンスを披露してくれ、仕草の巧みさに感動しました。衛星放送を利用したサテライト授業の設備もあり、同校の教育環境の向上もみられました。



▲舞踊を披露する子供達

ダルニー奨学金 本年度の授与者

本年度の新規授与者は、次の3名(年間一人14,400円で三年間)です。

ポーンチャ・
ロエムスライ

13歳



ジラナン・
ラブルエン

13歳



オーラバ・
ブアカエウ

13歳



タイにアクセス

会員
VOICE

タイ王国と私と野球

東京都
近藤 清美 さん



1998年タイでアジアゲームが行われました。その折タイで事業を行っていた友人より、タイアマチュア野球連盟の会長である陸軍大将ソムサクセンチャンルー氏を紹介され、タイ国野球代表チームの監督を要請されました。以来16年間タイ野球に関わり、現在も王立大学のコーチをしています。指導のモットーは、学校教育としての野球、自己啓発、自己犠牲、相互信頼を旨としています。この間一番印象に残っていることは、タイ国軍主催の国王様の誕生会に、3年間に渡りお招きをいただいたことで、身近にお祝いできたことが喜びです。

私は小学校4年で野球を始め、熊谷組で社会人野球、その後も城北埼玉高校のコーチを務めるなど野球と共に歩んできました。その野球でタイとつながり、こんなに嬉しい事はありません。

タイでの教え子が当会会員の皆様の会社においてリーダーとして活躍し、両国の親善につながればと願っています。

これが私のお気に入り

11月9日まで タイ北部少数民族の 衣服を展示



(ユーミエン族・モン族・リス族・アカ族の女性の衣服等)

場所：明治大学博物館 常設展示室

時間：10：00～17：00

主催：明治大学博物館

南山大学人類学博物館

JR御茶ノ水駅から徒歩5分

地下鉄お茶ノ水駅から徒歩8分



タイ・フェスティバル 第15回を迎える

当友好協会設立の翌年に始まったタイ・フェスティバル（5回まではタイ・フード・フェスティバル）が、今年15回を迎えました。当会は第1回からその開催を会員に周知するなど応援してまいりました。

今年も5月17、18日の2日間開かれ、当会の原会長も初日に訪れ、タナティップ・ウ



▲タナティップ・ウパティシン駐日タイ王国特命全権大使の出迎えを受ける原会長

パティシン駐日タイ王国特命全権大使の出迎えを受けた後セレモニーに参加しました。同大使は挨拶の中で、「今は毎年35万人の人出があるが初めは3万人、出店数を揃えるのに苦労したが、今はタイ料理の店は全国に1300店、東京には900店があるまでになっている」と話していました。



▲グライラーク元タイ王国駐日大使と原会長

またこのフェスティバルの創設者であるグライラーク元駐日タイ大使も招かれていて原会長と熱い握手を交わしました。

会長は、その後15回の歴史を語るポスターの展示を見たり、カービングの実演など熱心に見て回りました。

埼玉・タイ王国友好協会ホームページ

URL:<http://www.saitama-thai-fa.ecnet.jp/>

●会員増強にお役立て下さい

会 員 募 集

年会費 法人会員 2万円 問い合わせ TEL:049-247-5428

個人会員 2千円 FAX:049-246-2118

(武州ガス(株)内)

編集後記

●パンジャムラン校で、清掃用具があるのをタイの学校で初めて見ました (Y)

●高層ビル群や巨大なショッピングモールに象徴されるバンコク、美しい古都チェンマイ、様々な山岳民族が暮らすメーホンソン、タイは人も町も魅力的でした (H)